

(別添1)

## ハネウエル社製ELTに対する耐空性改善通報に関する経緯

- 7月12日(英国時間) エチオピア航空の787型機が、ロンドン・ヒースロー空港において発煙し、機体後方の上部が熱損傷する事案が発生
- 7月18日(英国時間) 本事案を調査している英国の事故調査当局は、ハネウエル社製固定型ELTに内蔵されたリチウムマンガン電池に損傷を確認したと公表し、FAAに対し安全勧告を実施
- 7月26日(米国時間) FAAは、米国の運航者に対し、787型機に搭載されたハネウエル社製固定型ELTについて、点検又は取卸しのいずれかの措置を指示する耐空性改善命令(AD)を発行
- 7月26日 国土交通省は、我が国の運航者に対し、FAAのADと同様の内容を指示する耐空性改善通報(TCD)を発行するとともに、ハネウエル社製固定型ELTを搭載した他型式の航空機についても自主的な点検の実施の検討を指示
- 8月15日(カナダ時間) カナダ航空当局(TCCA)は、カナダの運航者に対し、ハネウエル社製固定型ELTの点検を指示する耐空性改善命令(AD)を発行
- 8月16日 国土交通省は、我が国の運航者に対し、TCCAのADと同様の内容を指示する耐空性改善通報(TCD)を発行